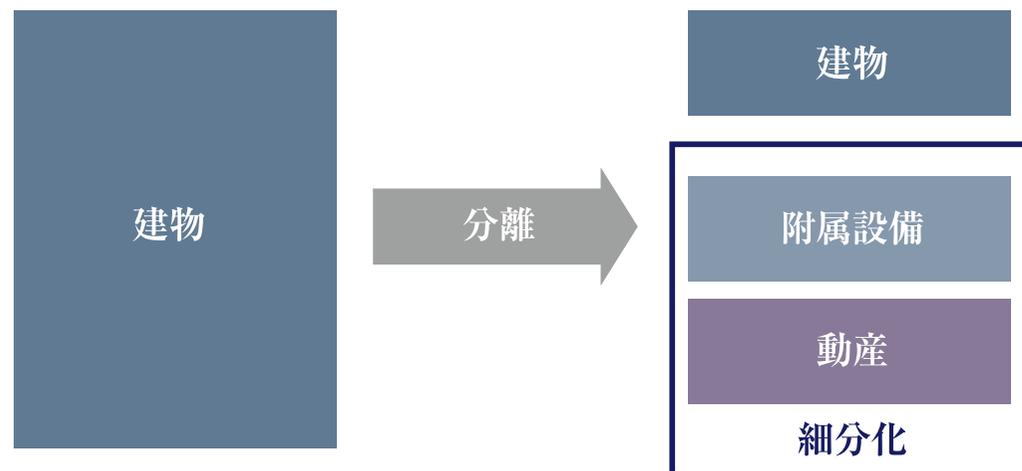


## コストセグレーションとは？

建物を附属設備と動産に分離しさらに細分化して法定耐用年数を細かく算出し、建物より短い耐用年数に基づき減価償却されます。切り離された附属設備や動産部分は建物本体より耐用年数が短いため、短期間での減価償却が可能となります。米国の専門エンジニアと連携し、再分類後の各資産が日本の「減価償却資産に係る耐用年数表」のどの細目に該当するのかを明確にした上でレポートが発行されます。



## 動産や附属設備とは？

以下は申告が必要な償却資産の例 ( )内は法定耐用年数  
 木造棚(8年) ガラスパーテーション(15年) シンク(15年)  
 配電盤(15年) 洗濯配管(15年) 洗濯機(6年)  
 白熱灯器具(15年) シーリングライト(10年)  
 ミニブラインド(8年) 雨水管(15年) カーペット(6年)



# 年間の減価償却費

## 年間の減価償却費

